宮城県CLT等普及推進協議会「ロードマップ」

（年度は西暦2018から）

ﾌｨｰﾙﾄﾞ	現状・課題	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	目指す成果
ﾏｲﾙｽﾄｰﾝ 木造の魅力にあふれる建築（シンボル） 木造とは気付かない建築（量産化タイプ）		3階建集合住宅建設 中大規模木造5棟完成 小規模木造施設・住宅部材としての活用法の確立			中層集合住宅建設 中大規模木造10棟以上完成			木構造推進拠点構想「みやぎ木材・木造センター」建設 自立的な建築の進展				宮城県内の中大規模非住宅木造率を５０％以上に 『杜の都仙台』の市街地に木造ビルの街並を
組織（企画・調整）	宮城県CLT等普及推進協議会	県補助金終了 法人化準備		法人設立	『（仮称）宮城県木構造協会』として活動 県産材木製品生産体制の整備　設計・施工等技術者の確保　独自の広報 活動拠点確保　キャラクター設定 等							『オールみやぎ』により，県内の木構造建築需要の担い手団体となる
県産材（生産・加工・流通）	CLT（原板）単価 12万円/㎥ 製材・CLT・LVL JAS認定工場	単価　10万円/㎥ 加工（PC）体制整備 CoC認証取得			単価　7～8万円/㎥ 量産・大判化施設整備 FSC製材・CLT等の流通			RC造，鉄骨造と同等の建設コスト 無垢・大断面集成材，CLT・LVLのJAS規格等生産体制整備・流通拡大				県産製材・CLT・LVLのJAS製品量産工場化とコストダウンの実現 高付加価値製品による山元還元と森林の循環利用促進
技術開発・研究	関連告示のみの設計に普及の限界	一般化・普及に繋がる工法・構造の開発 接合工法の開発 研究費の獲得			パネルの規格化 防火・耐火	遮音	開発技術（接合部等）の特許取得 設計・施工方法マニュアル化		一般技術者が普通に出来る設計方法			量産化・一般化に向けた簡便な設計方法，新技術の開発・普及
設計施工	CLTの設計・施工に積極的な技術者が少ない	勝手に設計隊活動 技術検討会・講習会等学ぶ機会をより多く提供 設計・施工技術者育成			設計事例のマニュアル化 施工事例のマニュアル化・共有			需要者を動かす設計・施工 CLT一般化後の継続的な技術研鑽 RC・S造ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ（建材CLTの普及）				木構造の設計・施工に取り組む宮城県内技術者を増やす
社会貢献	地球環境（CO2削減），水源保持，防災機能向上のための森林・林業の必要性や木製品，木構造建物の良さと重要性をトータルでPRする組織がない 【行政の普及推進施策との連動性・連携体制を模索】	協議会の広報活動（講習会・事例見学会，事例集作成，木育） 市民講座「木構造のメリット」等 木構造等建築相談窓口開設 ホームページ運営（協議会の取組を総括し，情報発信）			県内木構造マップ作成 事例に基づく技術の普及			木育活動推進拠点「木のテーマパーク」建設 木構造情報発信拠点「森林・林業・木材・木構造ｾﾝﾀｰ」建設 消費者向けメリット等のアピール（広報）				木構造建物を建築したい事業者・一般消費者を増やす
行政		県産材・木構造等の普及活動 各種木材利用促進施策の推進（山・森林（生産者）と都市（消費者）を繋ぐ仕組みづくり，生産者・技術者の自律的取組の支援，木質バイオマス利活用促進支援　等）			県内民間・自治体等の施設整備に貢献（ストックマネジメント）							宮城県（市町村）等が公共施設に木構造建物を採用しやすい土台をつくる